

めあて

学習した小数の計算を生かし、最短距離で避難できる経路（道）を実際に測って調べよう。

### 発展課題 1

日本は台風や地震が多く、最近では集中豪雨による洪水など、自然災害がよく起こります。私たちはいつ被害にあってしまうかわかりません。

学校では、年に数回避難訓練が行われていますが、必ず先生などの大人の人がいるとは限りません。そこで、自分一人のときに災害が起こっても、自分の身は自分で守れるようにするために、避難経路（逃げる道）を事前に確認しておくことにしました。

いつもは先生の指示に従って運動場に避難しますが、実際に教室から玄関前ろうか（外）までの距離を測り、最短距離で避難できる経路（道順）はどこか調べてみましょう。

また、かべがくずれたり、ものが倒れてたりしていて、一番近い経路（道順）からは逃げられない場合があるので、二つ以上の避難経路を調べましょう。

### 学習の手順と条件

- ①校内地図を見て、どの経路で避難するか（どの経路の長さを測るか）決める
- ②メジャーを使って調べる  
※角を曲がるごとに長さを記録する
- ③避難経路の全長を、小数を使って計算して求める（1人で）
- ④調べた2つの避難経路の差はどれぐらいあるか計算して求める（1人で）

#### 小数の表し方

2m15 cm → 2.15m

3m 8 cm → 3.08m

#### 提出①

校内地図に避難経路を線でかき加えたもの

#### 提出②

避難経路の全長を小数を使って計算したもの  
(計算式と答え)

#### 提出③

2つの避難経路の全長の差を小数を使って計算したもの

**提出方法** 提出①－②－③を写真にとり、ロイロノートの提出箱に提出